

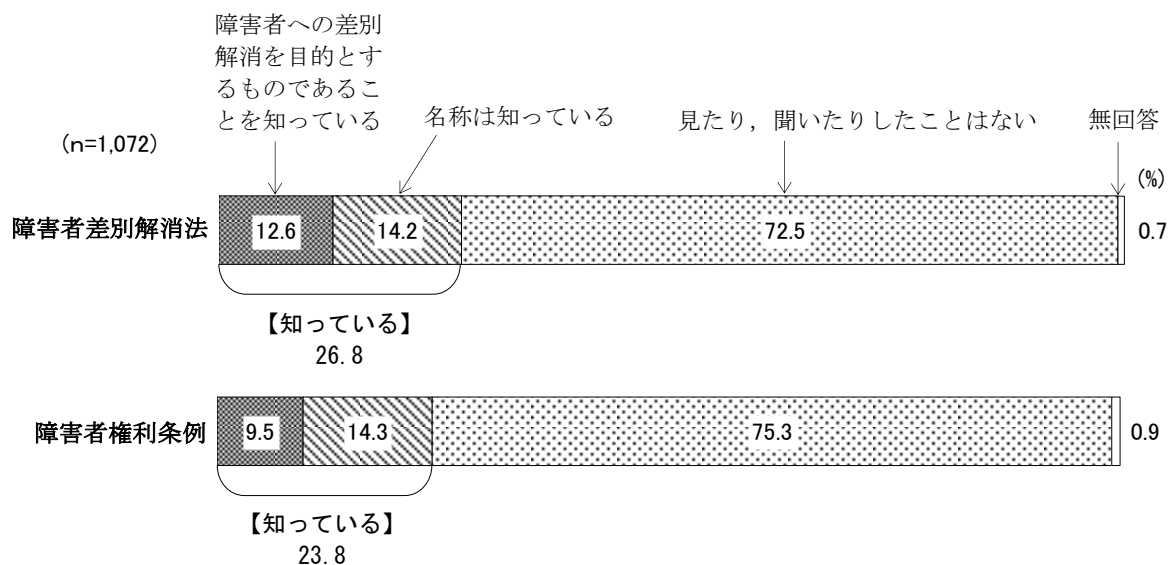
VI 障害を理由とした差別の解消

1. 障害者差別解消法，障害者権利条例

(1) 障害者差別解消法，障害者権利条例の認知度

－【知っている】は，障害者差別解消法，障害者権利条例ともに2割台半ば－

問16 「障害のある人もない人も共に歩み幸せに暮らすための茨城県づくり条例（障害者権利条例：平成27年4月施行）」，「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法：平成28年4月施行）」について，次の中から，あてはまるものを1つずつ選んでください。



障害者差別解消法，障害者権利条例の認知度について，「障害者への差別解消を目的とするものであることを知っている」と「名称は知っている」を合わせた【知っている】は，障害者差別解消法（26.8%），障害者権利条例（23.8%）のいずれも2割台半ばとなっている。一方，「見たり，聞いたりしたことはない」は，障害者差別解消法（72.5%）で7割を超え，障害者権利条例（75.3%）で7割台半ばとなっている。

〈障害者差別解消法〉

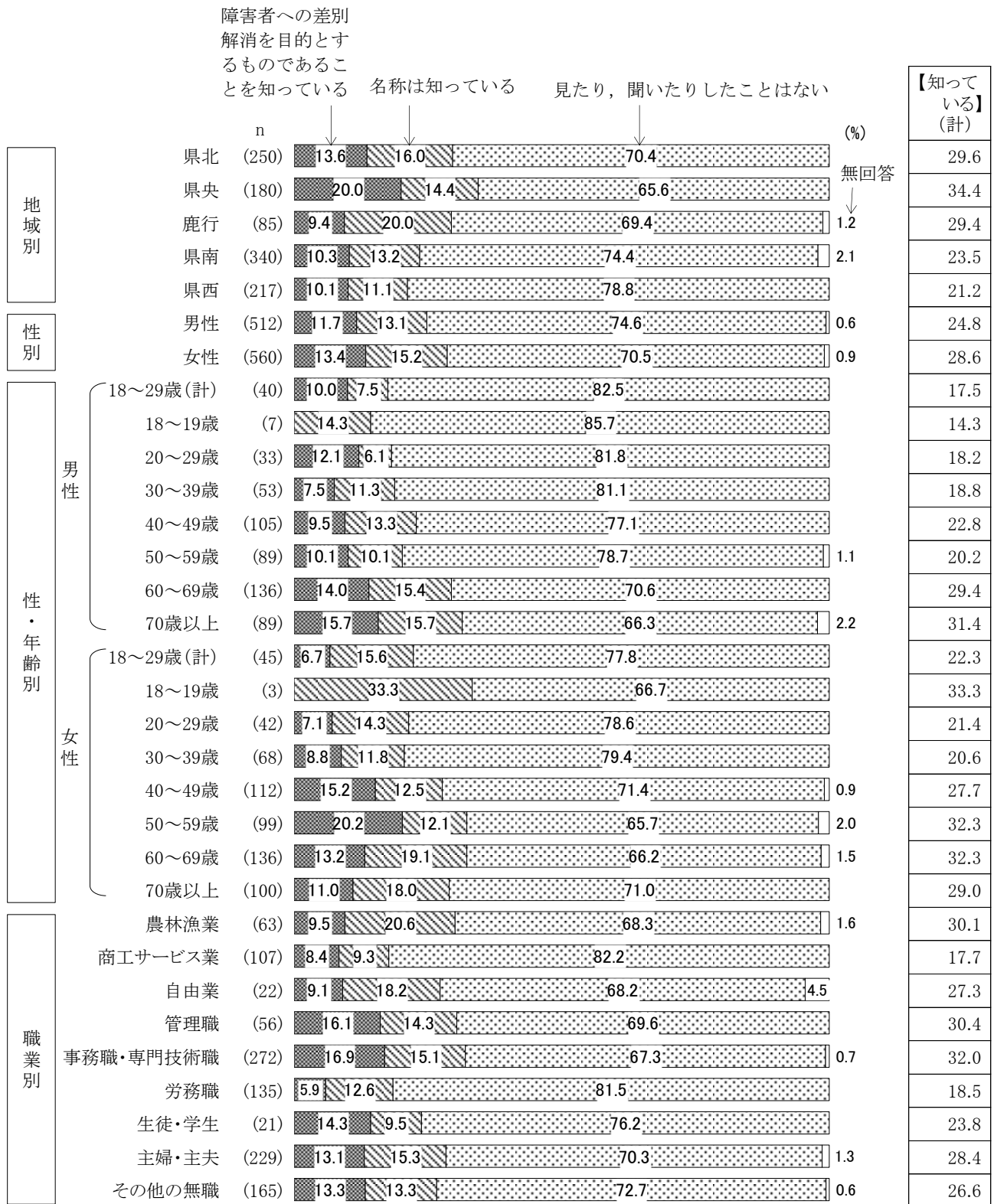
－県央で【知っている】が3割台半ば－

地域別でみると，【知っている】は，県央（34.4%）で3割台半ばと最も高くなっている。

－男性の70歳以上，女性の50代，60代で【知っている】が3割超－

性・年齢別でみると，【知っている】は，男性の70歳以上（31.4%），女性の50代，60代（いずれも32.3%）で3割を超えて高くなっている。

図VI 16-1 障害者差別解消法、障害者権利条例の認知度【障害者差別解消法】
(地域別、性別、性・年齢別、職業別)



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

〈障害者権利条例〉

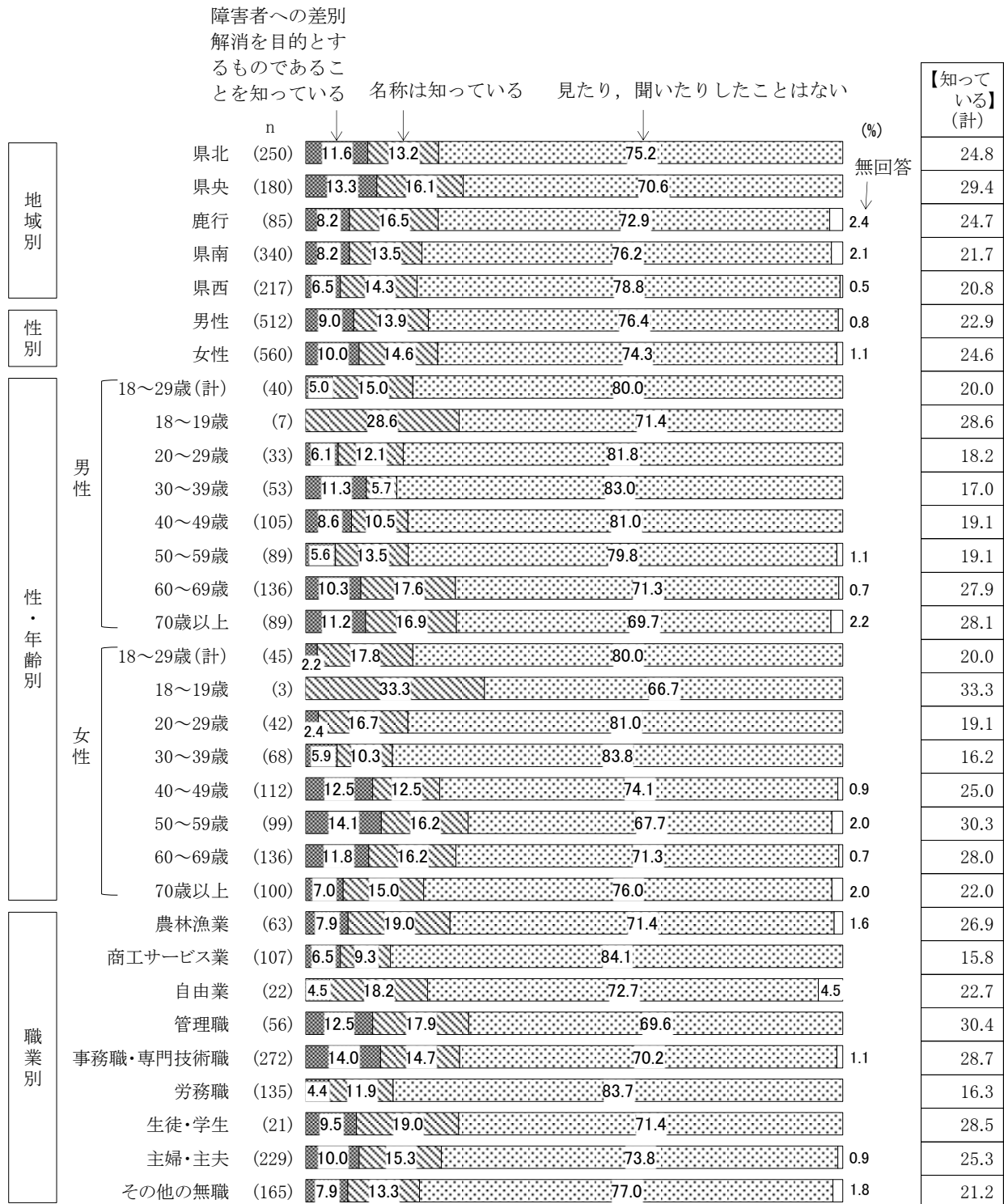
— 県央で【知っている】が約3割 —

地域別でみると，【知っている】は，県央（29.4%）で約3割と最も高くなっている。

— 女性の50代で【知っている】が3割台 —

性・年齢別でみると，【知っている】は，女性の50代（30.3%）で3割台と高くなっている。

図VI 16-2 障害者差別解消法，障害者権利条例の認知度【障害者権利条例】
（地域別，性別，性・年齢別，職業別）



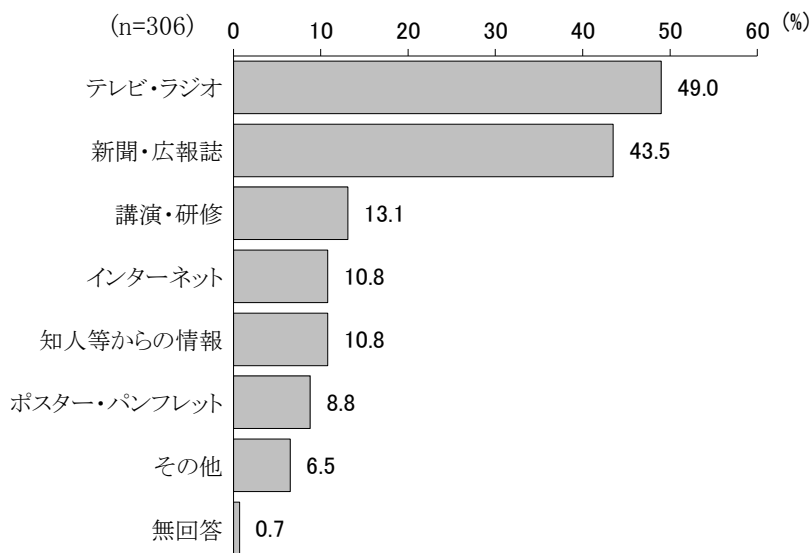
(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。

性・年齢別では，18～19歳，20～29歳よりも18～29歳の層の分析を優先する。

(2) 障害者差別解消法，障害者権利条例を知った手段

－「テレビ・ラジオ」が約5割－

(問16で障害者差別解消法，障害者権利条例のいずれかについて「1 障害者への差別解消を目的とするものであることを知っている」，「2 名称は知っている」と回答した方のみ)
問16-1 あなたは，障害者権利条例，障害者差別解消法を何で知りましたか。次の中から，あてはまるものをすべて選んでください。



障害者差別解消法，障害者権利条例のいずれかについて「障害者への差別解消を目的とするものであることを知っている」または「名称は知っている」と回答した方に，知った手段を聞いたところ，「テレビ・ラジオ」(49.0%)が約5割で最も高く，次いで，「新聞・広報誌」(43.5%)が4割台で続いている。

－鹿行で「テレビ・ラジオ」が約7割－

地域別でみると，「テレビ・ラジオ」は，鹿行(69.2%)で約7割と最も高くなっている。

－女性で「テレビ・ラジオ」が男性よりも約14ポイント高い－

性別でみると，「テレビ・ラジオ」は，女性(55.0%)が男性(41.5%)よりも約14ポイント高くなっている。

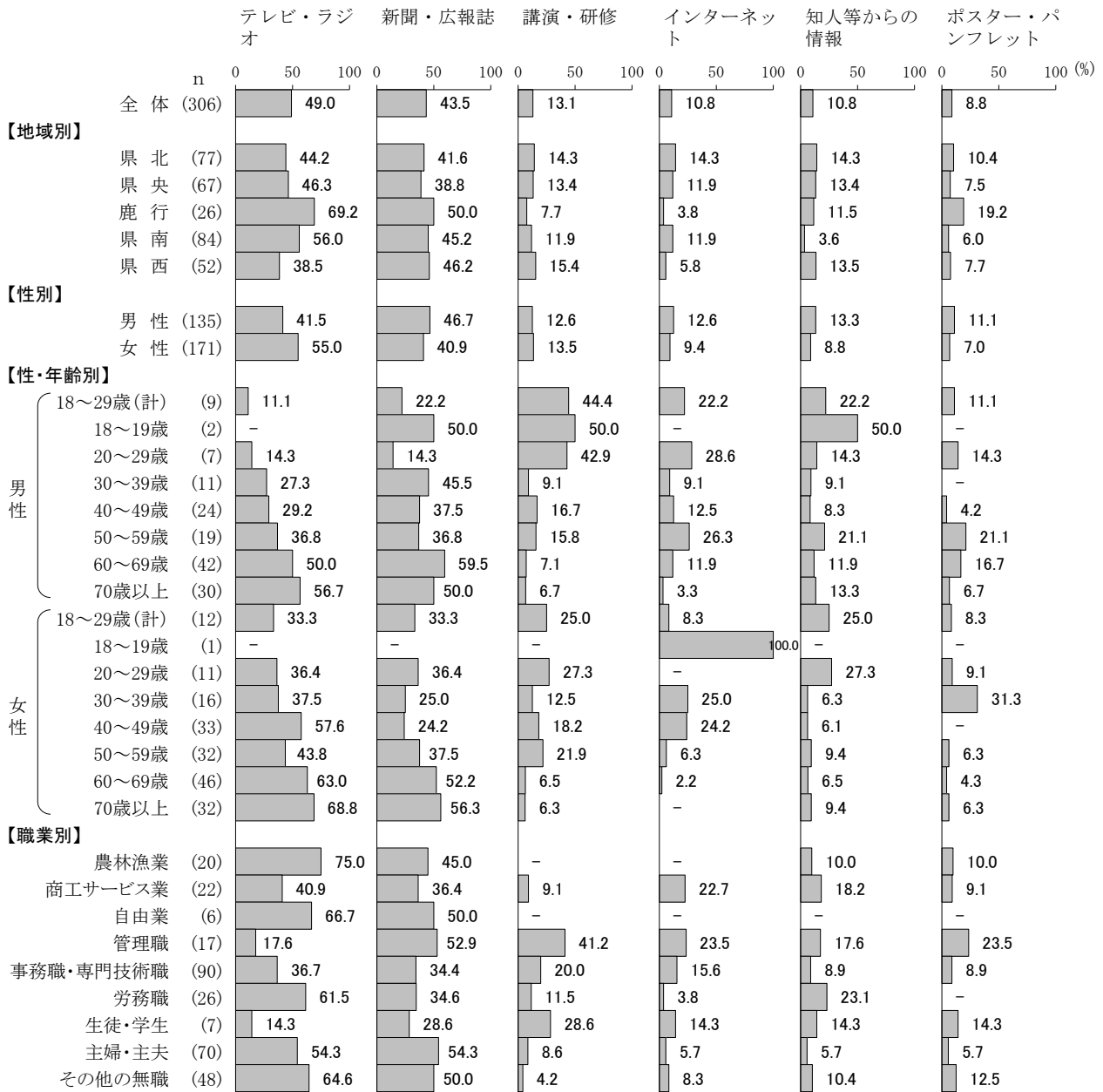
－女性の70歳以上で「テレビ・ラジオ」が約7割－

性・年齢別でみると，「テレビ・ラジオ」は，女性の70歳以上(68.8%)で約7割と最も高く，次いで，女性の60代(63.0%)で6割台半ばと高くなっている。

－男性の60代で「新聞・広報誌」が約6割－

性・年齢別でみると，「新聞・広報誌」は，男性の60代(59.5%)で約6割と最も高く，次いで，女性の70歳以上(56.3%)で5割台半ばと高くなっている。

図VI 16-1-1 障害者差別解消法，障害者権利条例を知った手段
(地域別，性別，性・年齢別，職業別)

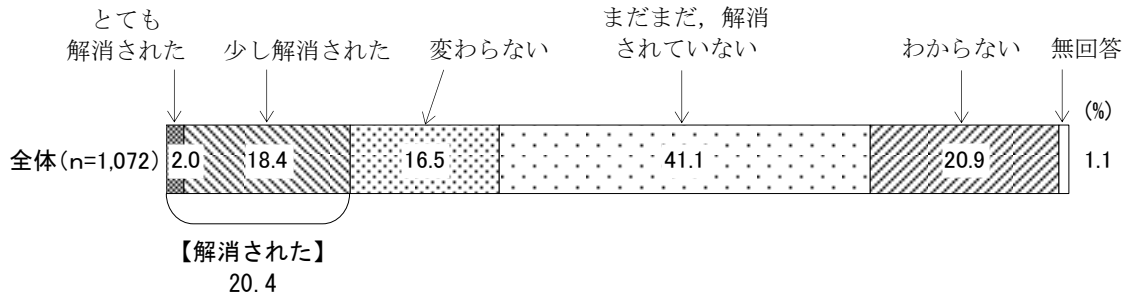


(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では，18～19歳，20～29歳よりも18～29歳の層の分析を優先する。

2. 障害を理由とした差別の解消状況

－「まだまだ、解消されていない」が4割超－

問17 あなたは、障害を理由とした差別は解消してきていると思いますか。次の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



障害を理由とした差別の解消状況は、「まだまだ、解消されていない」（41.1%）が4割を超えている。一方、「とても解消された」（2.0%）と「少し解消された」（18.4%）を合わせた【解消された】（20.4%）は約2割となっている。

－特に大きな男女差はない－

性別でみると、特に大きな差はみられない。

－男性の60代で【解消された】が3割超－

性・年齢別でみると、【解消された】は、男性の60代（31.6%）で3割を超えて最も高くなっている。

図VI 17-1 障害を理由とした差別の解消状況
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別)

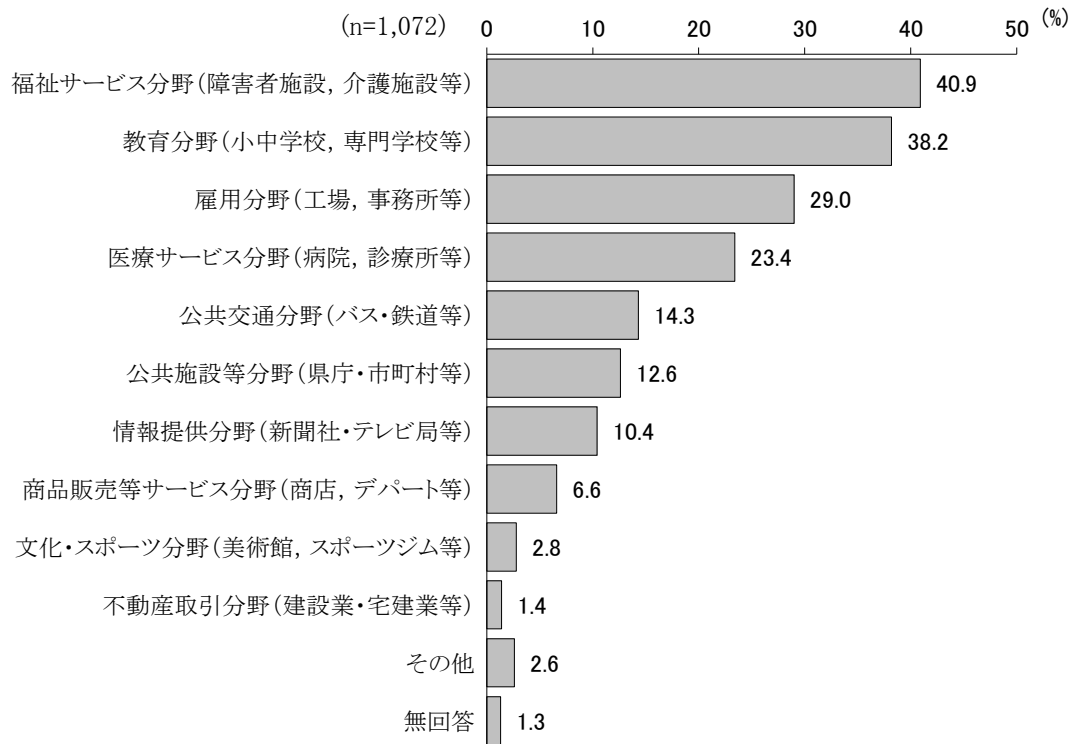


(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

3. 障害を理由とした差別の解消のために力を入れるべき分野

－「福祉サービス分野（障害者施設、介護施設等）」が約4割－

問18 障害を理由とした差別が発生する場面は様々ですが、今後、研修・講演などの周知啓発活動を、どのような分野に力を入れて行うべきだと思いますか。次の中から、あてはまるものを2つまで選んでください。



障害を理由とした差別の解消のために力を入れるべき分野としては、「福祉サービス分野（障害者施設、介護施設等）」（40.9%）が約4割で最も高く、次いで、「教育分野（小中学校、専門学校等）」（38.2%）が3割台、「雇用分野（工場、事務所等）」（29.0%）と「医療サービス分野（病院、診療所等）」（23.4%）が2割台で続いている。

－県西で「雇用分野（工場、事務所等）」が3割台半ば－

地域別でみると、「雇用分野（工場、事務所等）」は、県西（34.1%）で3割台半ばと最も高くなっている。

－女性で「福祉サービス分野（障害者施設、介護施設等）」が男性よりも約7ポイント高い－

性別でみると、「福祉サービス分野（障害者施設、介護施設等）」は、女性（44.1%）が男性（37.3%）よりも約7ポイント高くなっている。

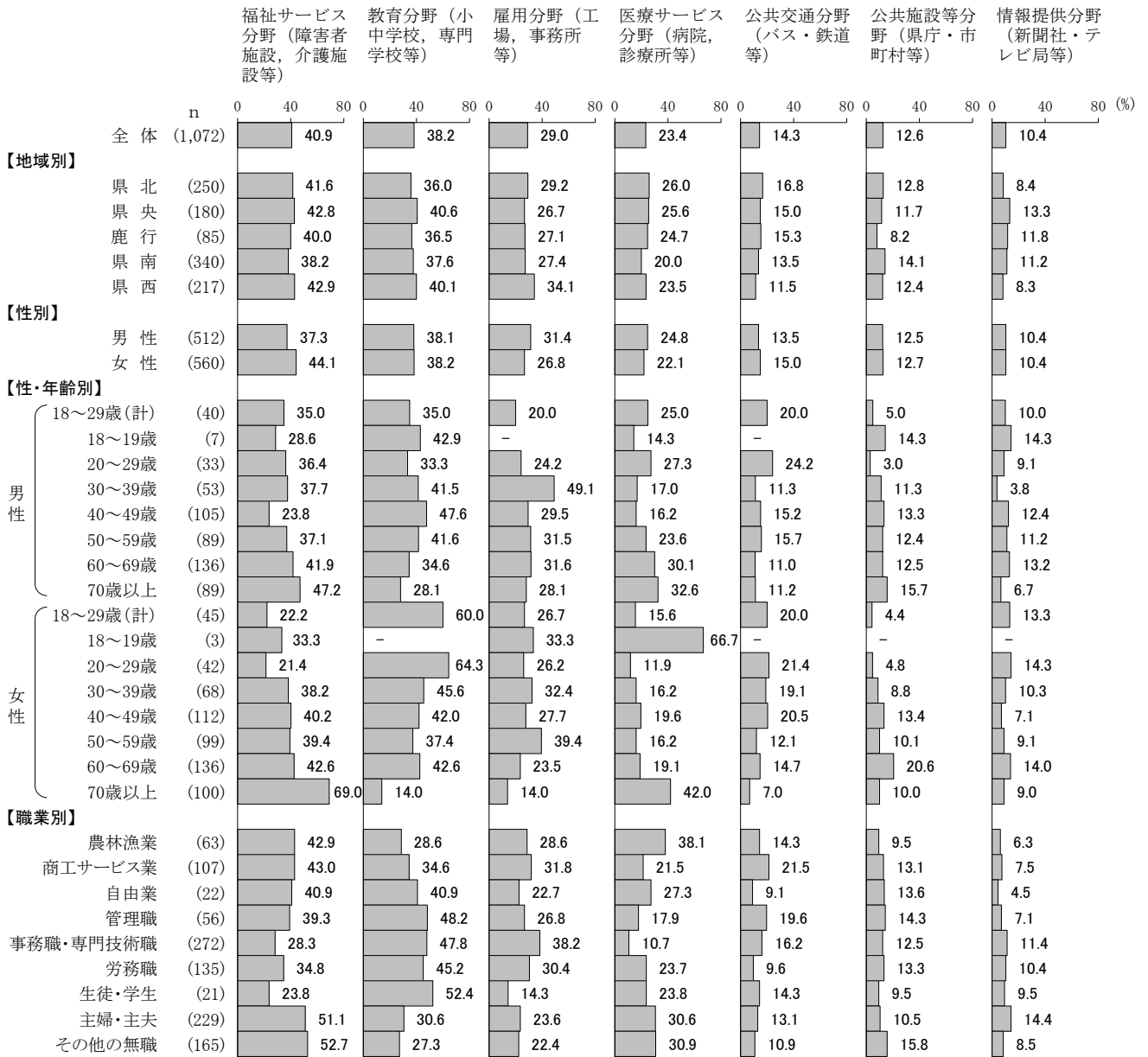
－女性の70歳以上で「福祉サービス分野（障害者施設、介護施設等）」が約7割－

性・年齢別でみると、「福祉サービス分野（障害者施設、介護施設等）」は、女性の70歳以上（69.0%）で約7割と最も高くなっている。

一女性の18～29歳で「教育分野（小中学校，専門学校等）」が6割一

性・年齢別でみると，「教育分野（小中学校，専門学校等）」は，女性の18～29歳（60.0%）で6割と最も高くなっている。

図VI 18-1 障害を理由とした差別の解消のために力を入れるべき分野
（地域別，性別，性・年齢別，職業別—上位7項目）



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では，18～19歳，20～29歳よりも18～29歳の層の分析を優先する。